日医発第867号（健Ⅱ）
令和8年8月6日

千葉県医師会、岐阜県医師会
感染症危機管理担当理事　殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
笹本　洋一

全国２モデル県における性感染症全数把握調査について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
わが国における性感染症の実態を実数に近い形で把握するために、平成18年度より厚生労働科学研究／新興・再興感染症研究事業等において、地域を限定した性感染症の全数調査がモデル県を対象として実施されております。
貴県におかれましては、これまで本調査の円滑な実施にご協力いただき、あらためて御礼申し上げる次第です。

今般、厚生労働科学研究費補助金　新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「梅毒をはじめとする性感染症に関する実態把握及び対策の立案や評価に資する研究班」（研究代表者：三鴨廣繁　朝日大学病院感染症内科教授）より、10月１日から31日までの１か月間、調査対象のモデル２県（千葉県、岐阜県）において、梅毒、淋菌感染症、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症および尖圭コンジローマの５疾病に係る精緻な性感染症の全数把握調査（センチネルサーベイランス）を実施することになり、別添のとおり、本会に対して協力依頼がありました（研究期間：2024年度から３年間）。

つきましては、研究班の地区担当者から別途協力依頼があることと存じますが、貴職におかれましても本調査の趣旨をご理解賜りご協力いただきますとともに、貴会管下の郡市区医師会および対象医療機関への周知協力方ご高配賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

No.3442
R 8.8.07
感染医

2026年7月吉日

公益社団法人　日本医師会
会長　　松本 吉郎　殿

令和８年度厚生労働科学研究費補助金
新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業
「梅毒をはじめとする性感染症に関する実態把握及び対策の立案や評価に資する研究班」
研究代表者　三鴨　廣繁
（朝日大学病院　感染症内科　教授）

全国２モデル県における性感染症全数把握調査へのご協力のお願い

謹　啓

時下、益々ご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、わが国におきまして、薬剤耐性菌の増加やここ数年間で梅毒が著しく増加するなど、性感染症の発生状況に予断を許さない懸念事項が見られてきております。

これまで厚生労働科学研究/新興・再興感染症研究事業「性感染症に関する特定感染症予防指針の推進に関する研究」の小野寺班、荒川班、さらに2018年度からの三鴨班におきましては、貴会の多大なるご協力により全国のモデル県を対象に精緻な性感染症の全数把握調査（センチネルサーベイランス）を実施させていただき、日本の性感染症蔓延実態の解明に有意義な研究成果を挙げることができましたことを、改めまして、厚く御礼申し上げます。

2024年度より厚生労働科学研究/新興・再興感染症研究事業として「梅毒をはじめとする性感染症に関する実態把握及び対策の確立に資する研究」が新たに３年計画で開始されました。本研究班におきましても研究課題として、地域を限定した性感染症の全数調査を取り上げております。

今年度は、対象モデル県を千葉、岐阜の２県としまして、10月１日から31日までの１か月間における梅毒、淋菌感染症、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症および尖圭コンジローマのセンチネルサーベイランスを実施させていただきたく存じます。

本調査によりまして「性感染症患者の数的な実態把握」および、その「質的な解析」を行い、わが国の性感染症の全容をさらに明確にしてまいりますことは、継続的な公衆衛生学的施策を立案する上で極めて重要であると考えております。

日本医師会におかれましては、本研究課題にご理解を賜りまして、今年度も上記２県の医師会と共に、性感染症の全数把握調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

何とぞ、宜しくお願い申し上げます。

謹　白